

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1421021	作曲法 (Method of Composition)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	4	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 清水 慶彦  E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	中学校学習指導要領がさだめる「創作」の内容をふまえ、調性にもとづく音楽作品の基礎的な作曲法を学ぶ。そのことを通じて、楽曲の構造や音楽理論への理解を深めるとともに、楽譜の正しい書き方など、音楽科教員としての基本的な素養を身につける。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	音階や調性など、基礎的な音楽理論を理解し応用できる。																
目標2	旋律を作成し、和声や伴奏を付することができる。																
目標3	旋律と言葉の関係や反復・変化・対照など、中学校学習指導要領解説に示された「構成の工夫」ふまえた作曲実践ができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	基礎的な理論：音階と和音、旋律と和声																
2	旋律（メロディー）はどのように作られるか																
3	旋律の創作（1）動機、楽句、楽節の構造																
4	旋律の創作（2）旋律の形式																
5	言葉と旋律の関係																
6	旋律と和音の関係を考える																
7	旋律に和声をつける																
8	和声をもとに伴奏をつくる																
9	楽曲の構成の工夫とは																
10	楽曲の構造と形式																
11	さまざまな楽曲形式																
12	さまざまな作曲手法																
13	ここまでのまとめと制作課題の添削																
14	中学校学習指導要領では何が望まれているか																
15	制作課題の合評																
ラーニング	A:知識の定着・確認	作曲実践をとまなう能動的修学。					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	課題の実践，作曲など（30h）。															
	事後	授業で明らかになった技術的問題の修正など（15h）。															
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。																
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』、『中学校の音楽』（1、2・3上下巻 教育芸術社）																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業での課題実践	40%															
	作品提出	60%															
		授業での課題実施，作品提出等により総合的に評価。															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																